



石部 基実 院長

いしべ・もとみ ●北海道大学医学部卒業後、同大学医学部整形外科入局。米国ロチェスター大学医学部整形外科、NIT 東日本札幌病院人工関節センタ長などを経て、2008年、石部基実クリニックを開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医、日本リウマチ学会認定リウマチ専門医。医学博士。座右の銘は、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」



狩谷 哲 副院長

かりや・さとる ●金沢医科大学医学部卒業後、昭和大学病院整形外科助手（股関節班チーフ）、米国アンダーソン整形外科クリニック、総合高津中央病院整形外科医長などを経て、2010年、石部基実クリニック勤務。11年から副院長。日本整形外科学会認定整形外科専門医。座右の銘は、「守」

# 人工股関節置換術に特化したチーム医療を推進し ナビゲーションシステムで正確、安全な手術を行う

## 石部基実クリニック

欧米式最新診療システムで  
より質の高い診療が可能に

石部基実クリニックの特徴は、人工股関節置換術に特化したチーム医療体制を構築していることである。石部基実院長は、「当クリニック

クでは外来診察と退院後のフォローを、また手術は小笠原クリニック札幌病院で行っています。協力病院と連携したこのシステムにより、医師やスタッフがより多くの患者さんを診ることで経験値が上がり、質の高い診療が可能になりました」と話す。

狩谷哲副院長も、「アメリカの最先端クリニックに留学した際、外来診療と手術を別の施設で行う特化型システムで対応していました。その欧米式の最新診療システムがすでに札幌で導入されていることを知ったときは、とても驚きました」といふ。

## 人工股関節置換術の90数%をMISで行う

3D画像によるナビゲーションシステム。「ナビゲーションを100%信用するのではなく、必ず目で見て確認するようにしています」と石部院長



## ナビゲーションシステムが人工股関節のMISに貢献

人工股関節置換術では、平均7cmの手術創というMIS（最小侵襲手術）を行っている。このMISで威力を発揮しているのがナビゲーションシステムで、股関節（目的地）に対してコンピューターが自動的に誘導する。「この導入により手術の正確性、安全性、信頼性、そして確実性が大幅にアップしました」と石部院長。狩谷副院長も「手術前を大事にしています。CT検査を行い、それをもとにじっくり時間をかけて手術計画を立てます」と言葉を続ける。ナビゲーションシステムは、

最後は手入力で調整することが少なくなく、熟練の医師だからこそ活用できるシステムであるという。同院の2011年1〜12月の人工股関節置換術は621件で、手術件数だけでなく脱臼などの合併症の情報もホームページで公開する。また、患者が「石部基実クリニック 患者の会」のホームページを開



設し、情報交換を行っている。石部院長は、「患者さん同士がコミュニケーションを取り合って、『入院してからの方が安心する』といわれるほどです。退院時に患者さんが笑顔で帰られるのを見るのが一番うれしいですね」と話す。

### DATA

## 石部基実クリニック

診療科目 ● 整形外科  
診療時間 ● 9:00~18:00 完全予約制  
休診日 ● 水・土・日・祝  
〒005-0012  
北海道札幌市南区真駒内上町 1-1-25  
グリーンプラザ真駒内公園ビル  
TEL ● 011-876-9008 (月~金 9:00~12:00)  
FAX ● 011-876-8089  
http://www.dr-ishibe.net/  
http://www.satoru-kariya.com/  
石部基実クリニック 患者の会  
http://www.7b.biglobe.ne.jp/~kanzyanokai/